

政策シート

(政策名) 自由な選択の実行が保障されたユニバーサル社会の実現
(予算費目名) UD・男女共同参画費

(総合計画体系)

「分野」	地方自治・都市経営
30年後の姿	協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 だれもがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現

◇政策の概要

年齢、性別、能力、国籍などの違いに関わらず、市民一人ひとりが社会の担い手として自立し、相互に尊重しつつ支え合いながら自由に社会参加することができるように、多様性の理解や環境整備を進め、誰もが安心して快適に暮らすことができるユニバーサル社会の実現を目指します。

◇関連するSDGsのゴール

③保健	④教育	⑤ジェンダー							
-----	-----	--------	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	6,176	8,476	9,837	7,276	10,108
決算	5,335	7,488	9,254	6,490	
人件費(A)	47,400	48,940	46,200	36,120	37,900
報酬(B)	128	159	72	160	165
年間経費(予算又は決算+A+B)	52,863	56,587	55,526	42,770	48,173

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
ユニバーサルデザインによるまちづくりに対する市民満足度	%	23	目標	14	15	16	17	17
			実績	14	13.1	13.2	13.7	
ユニバーサルデザインの理解度	%	50	目標	40	-	-	43	43
			実績	46.5	-	-	37	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

年齢、性別、能力、国籍などの違いに関わらず、市民一人ひとりが社会の担い手として自立し、相互に尊重しつつ支え合いながら自由に社会参加することができるように、多様性の理解や環境整備を進め、誰もが安心して快適に暮らすことができるユニバーサル社会の実現を目指す。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

- 第2次浜松市UD計画・第2期推進計画(H29-R3)においてソフト、ハードに関わる事業の進捗管理を行った。
- 平成30年度の「UDによるまちづくりに対する市民満足度」は、前年度から0.5ポイント向上し13.7%となったが、目標数値(17%)の達成には至らなかった。
- 多様性と向き合うための心のUDの醸成及びUD推進を担う人材の育成が課題である。また、併せてソフト、ハード、ハートの3つの連携に基づく環境整備を図っていく必要がある。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	ユニバーサルデザイン推進事業	○	○	○		40,843	9,078	3.6	1.0		1.0	165
2	UD・男女共同参画運営経費 (一般諸経費のみ)					7,330	1,030	0.9				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						48,173	10,108	4.5	1.0		1.0	165

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) ユニバーサルデザイン推進事業

◇事業目的・事業対象

すべての人が暮らしやすいまちを築くため、様々な特性や習慣の違いなど多様性の理解を進め、一人ひとりが思いやりの心をもって主体的に行動できるよう、市民、事業者及び市の協働によりユニバーサルデザインによるまちづくりを推進する。

◇事業の概要

【H27-H30 重点戦略項目No.126】【R1-R4 重点戦略項目No.193、No.194】

外国人や高齢者、障がい者などコミュニケーションが難しい方が窓口等で円滑なコミュニケーションをとることができるよう、ICTを活用したコミュニケーション支援を行い環境整備を図る。また、ブラジルパラリンピック選手団事前合宿が行われる公共施設を対象にISO(国際規格)に合わせたピクトグラムの改修・設置をするとともに、UDについての理解を深め、多様な人への配慮、心のUDの醸成及びUD推進を担う人材育成を目的とした様々なセミナーや研修会等を開催。

○小中学校等におけるUD学習の支援

・UD学習資料配付(小4、中1)、出前講座、施設見学、UD講師派遣、企業のUD出前講座等

○市民、事業者等と協働でUDを推進する事業 ・UD提案事業

○浜松市ユニバーサルデザイン審議会の開催

・ユニバーサルデザインの推進に関する重要事項を審議

○職員、教職員研修

・庁内におけるUDの浸透や情報伝達・配慮方法を学ぶ研修の実施

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H12		一般会計	自治事務(その他)	浜松市ユニバーサルデザイン条例	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	4,938	7,325	8,746	6,211	9,078
	決算	4,551	6,714	8,435	5,665	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	4,551	6,714	8,435	5,665	9,078
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)		128	159	72	160	165
人件費(千円)		41,100	42,640	39,900	29,820	31,600
人工	正規	4.7	4.6	4.5	3.5	3.6
	再任用(h31)				0.7	1.0
	再任用(h26)	1.0	1.0			
	非常勤	2.0	2.8	3.0	1.0	1.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.d	⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1、4.2、4.3、4.5、4.6、4.7、4.8	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー	○ 5.1	⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

すべての人が暮らしやすいよう、まちづくりやものづくり、環境づくりを行っていかうとする考え方を推進していくことは、すべての人にとって公平な環境づくり(発展途上、教育差別、女性差別をなくす)へとつながっていくことが期待される。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
UDセミナー等の参加者数累計(人)					-		126	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	150	300	800	1,000	-	-	-	
実績値	198	605	788	1,113	-	-	-	
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
UD出前講座受講率(%)					-		-	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	30	30	30	30	40	40	45	
実績値	33	28	31	35				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
音声文字化アプリケーションの利用実績(件)							193	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					20	30	30	
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
UD市民リーダー養成に伴う講座受講者数(人)							194	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					20	20	20	
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- 小中学校等におけるUD学習の支援
 - ・UD学習資料配付(小4、中1)、出前講座、施設見学、UDサポーター派遣、企業のUD出前講座等
 - ・UD学習支援ボランティア養成
- 市民、事業者、学術機関等と協働でUDを推進する事業
 - ・UD提案事業、ブラインドサッカー体験教室の開催、UD・男女参画展の出展、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたUD推進事業等

【重点戦略項目 No.126】

- UD普及啓発事業
 - ・UDについての理解を深め、多様な人への配慮方法等について普及啓発するセミナーや講演会等の開催
- 職員、教職員研修
 - ・職員を対象にUDの浸透や情報伝達・配慮方法を学ぶ研修の実施

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・第2次UD計画・第2期推進計画に基づき事業を展開した。
- ・指標「UDセミナー等の参加者数」は、325人となった。
- ・指標「出前講座受講率」は、35%(59校/168校※私立、特支含む)となり、目標の30%を達成した。(前年比4%増・7校増)小中学校への継続したPRが成果として表れた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・第2期推進計画の重点施策の1つである「学校教育における心のUD推進」の企業の出前講座において、受講者数が昨年度より740人増の2,969人となった。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたUD推進事業では、観光事業者等を対象としたセミナー等を実施するとともに、観光インフォメーションセンターにおける車椅子やベビーカーの貸し出しを実施するなど、ユニバーサルツーリズムセンター機能を付加するための3年間の取組の集大成を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・誰もが容易に情報へのアクセスやコミュニケーションを図ることができるよう、窓口等でICTを活用したコミュニケーション支援を行う。
- ・ブラジルパラリンピック選手団事前合宿が行われる公共施設を対象に、ISO規格のピクトグラムの新設、改修を行うとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、多様な人々と向き合うための心の醸成と行動できる人材育成のほか、ソフト、ハード、ハートの3つの連携による環境整備を図る。

補助シート (事業名) ユニバーサルデザイン推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
193	必要な情報へのアクセスが保証される環境づくりを図る	必要な情報へのアクセスが保証される環境づくりを図る	必要な情報へのアクセスが保証される環境づくりを図る	必要な情報へのアクセスが保証される環境づくりを図る
194	多様性の理解や心のUDの醸成及びUD推進を担う人材育成を目的としたセミナー、研修会を開催する	多様性の理解や心のUDの醸成及びUD推進を担う人材育成を目的としたセミナー、研修会を開催する	多様性の理解や心のUDの醸成及びUD推進を担う人材育成を目的としたセミナー、研修会を開催する	多様性の理解や心のUDの醸成及びUD推進を担う人材育成を目的としたセミナー、研修会を開催する

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
126	高齢者や障がい者など多様性の理解を進め、情報伝達や配慮方法等についてのセミナーや研修等を開催する。	高齢者や障がい者など多様性の理解を進め、情報伝達や配慮方法等についてのセミナーや研修等を開催する。	高齢者や障がい者など多様性の理解を進め、情報伝達や配慮方法等についてのセミナーや研修等を開催する。	高齢者や障がい者など多様性の理解を進め、情報伝達や配慮方法等についてのセミナーや研修等を開催する。

事業シート (事業名) UD・男女共同参画運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	1,238	1,151	1,091	1,065	1,030
	決算	784	774	819	825	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	784	774	819	825	1,030
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		6,300	6,300	6,300	6,300	6,300
人工	正規	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
					-	H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工